



9月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和5年9月1日

まだまだ残暑が続く毎日ですが、ときどき肌に触れる風が心地よく感じられる日が出てきました。引き続き熱中症対策等を心掛けながら安心・安全に過ごしていきたいと思います。

さて、夏といえば甲子園。今年も全国高校野球選手権大会で盛り上がりましたね。特に春夏連覇を狙う仙台育英高校VS慶応高校の決勝戦は注目の的でした。東北代表である仙台育英も大健闘でしたが、慶応が107年ぶり2度目の優勝を果たしました。今回慶応を栄冠に導いたのは、いろいろな意見がある中、従来のスタイルにとらわれない『エンジョイ・ベースボール』の精神を貫いてきた結果が実を結んだ、と言われていています。木村主将は、「より高いレベルで野球を楽しもう」と解釈し、選手の自主性を大切にしてきたということでした。森林監督が、練習において打撃マシンの球種を速球に設定しても、「最近は変化球を打っていないので変化球を多めでどうですか」と伝えてくる選手もいたそうです。監督は「自ら考えて野球をしている証拠」と受け入れ、今大会でも、試合中の対策を選手たちで相談し合い逆転した試合もあったという話もありました。コロナの制限も緩和され、甲子園での高校生の雄姿を通して、子どもたちに夢と希望を与えてくれた夏でもありました。

「エンジョイ＝楽しむ」皆様もよくご存じですが、志賀学園 松の実こども園のモットーは、『楽しくなければこども園でない』です。夏休み中、各ご家庭でのんびりゆったり、時にはお出掛けして楽しく過ごされたようですね。親御さんがお仕事の際はこども園で過ごしていたお子さんもおりました。先生方は、「猛暑ですが、工夫して楽しく遊ばせてあげたいです」と、毎日いろいろな遊びを考えていました。大好きなプールは勿論のこと、園庭で収穫したトマトとバジルでピザを作ったり、スライムや色水遊び、涼しいお部屋にすべり台やトランポリン・マットを設置し公園に見立てた運動遊びコーナー、簡易プールにスーパーボールや魚を浮かべた釣り堀りの水遊びコーナーなど、子どもたちと何をしたいか話し合いながら進めていた姿に、“松の実の子どもたちって幸せだなあ〜”と嬉しく思いました。

2学期は、運動会や作品展・生活発表会など行事が盛りだくさんです。これまでの遊びの中で培ってきた運動や制作・表現など、各行事へつなげて参ります。特にさくら組さんは、リレーごっこを通してメンバーや走る順番を自分たちで話し合っ決めてたり、すみれ・ばら組さんもダンスの衣装や振り付けなど意見を聞きながら、子どもたちが主体的に取り組んでいけるよう引き出していきたいと思っています。

コロナウイルスの感染も、まだまだ予断を許さない状況ですので、引き続き感染対策をとりながら過ごしていきますので、ご家庭におかれましても、熱・咳・鼻水などの症状があった場合は、無理せず早めの受診をお願いいたします。